

# 中学部教育計画

中学部では、基本的な生活習慣の確立を目指し、将来の自立や社会参加に必要な知識・技能・態度について、教育活動全般を通して培っていく。そのために、生徒の実態を的確に把握し個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成するとともに、その指導計画を基に生徒一人一人の課題や教育目標の具現化に向けて支援していく。

## 1. 学部教育目標（目指す生徒像）

(1) いろいろな運動に進んで取り組み、力いっぱい活動する生徒（健康）
ア 意欲的に運動に取り組み、体力の保持、増進に努める。 イ 手洗い・うがいなど、健康に過ごすための方法を覚え、実践する。 ウ 約束を守って、安全に生活しようとする。
(2) 自分のことは自分でやろうとし、より良い生活を目指す生徒（自立）
ア 自分から挨拶をしたり、身だしなみに気を付けたりする。 イ 周囲と関わり、協力し合ったり、助け合ったりする。 ウ 学校生活のルールを守り、集団生活を送る。
(3) 勉強することに興味・関心を持ち、進んで学習に取り組む生徒（学習）
ア 相手の顔を見て話を聞いたり、自分なりの方法で発表したりする。 イ 学校で行う様々な活動に、期待をもって前向きに取り組む。 ウ 自分でできることに喜びを感じ、最後まで諦めずに取り組む。 エ 生活に必要な数量や言葉などの基礎を身に付け、生活に生かす。
(4) 基本的な技術を身につけ、喜んで働く生徒（勤勉）
ア 手順やルールを守り、正しいやり方で作業を行う。 イ 責任感を持って根気強く仕事をする。 ウ 作ることに楽しみを見だし、働く喜びを感じる。

## 2. 今年度の重点努力事項

- (1) 個別の教育支援計画及び個別の指導計画を適切に作成し、教育的ニーズに応じた指導・支援に努める。
  - ・ 保護者、本人の願いや意見を聞き、長期的な視点で話し合いを進める。
  - ・ 障害の状態に応じ、きめ細やかな指導が行えるよう内容や目標を具体的に設定し、見直しを行いながら指導・支援の充実を図る。
- (2) 多様な障害に対応できる学習指導の在り方を探り、実践する。
  - ・ TTの有効性を生かし、生徒の実態や指導内容及び方法の共通理解を図り、目標や課題に応じた学習形態の組み合わせを工夫する。随時評価を行い、改善に役立てる。
  - ・ 集団の学習活動において互いに関わり合う場面を設定し、人と関わる力が高められるようにする。
  - ・ 外部専門家の助言を積極的に取り入れ、指導・支援に生かす。
- (3) 生徒にとって理解しやすい指導・支援に努める。
  - ・ 生徒の実態や障害特性を踏まえ、効果的な指導・支援を工夫し実践する。
  - ・ 生徒の主体的な学びを引き出せるような教材、教具を創意工夫し、学習環境を整える。
- (4) 小・中・高の指導の系統性を考え、学部間の連携を図る。
- (5) 成功体験を増やし、生徒の自己肯定感を高めるための指導・支援に努める。
- (6) 生徒が安心して学べる学習環境の確保に努める。